

わが校区のじまん～小中連携～

大崎市立鹿島台小学校
大崎市立鹿島台中学校

1 幼保小中での「合同引き渡し訓練」

6月13日(火)に、鹿島台地区合同避難訓練が行われた。幼保小中各校の防災主任同士が鹿島台中学校に集まり、事前の打ち合わせを行うなど、お互いの訓練の動きを事前に確認して訓練本番に臨んだ。異校種の教職員同士、お互いの顔を知ること大切にながら取り組んでいる。



2 鹿島台中学校オープンスクール

11月1日(水)に、鹿島台中学校のオープンスクールが行われた。6年生は、中学校の部活動見学を行った。

オープンスクールの実施に合わせて、鹿島台小中学校音楽交流会も実施した。鹿島台小学校の4年生と6年生が、中学校の合唱を鑑賞した。小学校は4年生が代表をして、合唱とリコーダー奏を披露した。



3 幼保小中連携 ～指導主事学校訪問～

6月22日(木)に鹿島台小学校の指導主事学校訪問が、8月30日(水)に鹿島台中学校の指導主事訪問が行われた。それぞれの学校より複数名の教員が授業の様子の参観を行った。幼稚園や保育園と小学校のつながりや、小学校と中学校のつながりなどを大切にしながら、互いの校種を行き来し合うことができている。



4 中学校教員による体育の乗り入れ授業

令和5年度は、小中連携のひとつとして、中学校の体育科の教員が教科担任制で高学年(5・6年生)の体育の授業を行っている。子どもたちにとっても教科担任での体育の学習は初めての経験であり、また、小学校教員にとっても、専門的な体育の授業を見ることで、学びの多い時間となった。



5 今年度の成果・課題、次年度に向けて

教科担任制での体育の乗り入れ授業は、子どもたちにとって大きな刺激となった。中学校に進学した後も、スムーズに教科担任制の授業に取り組むことができるのではないかと考える。次年度も、多くの交流活動や授業交流を視野に入れて、より一層、小中学校間の連携を図って行きたい。

課題としては、小中学校それぞれの一日の時間が異なることから、それぞれの時間割の開始時刻に合わせた行き来がやや大変であると感じた。また、それぞれの学校の行事日程を考慮すると、時間の調整が難しい面があった。しかし、大変さはあったが得るものが多く、大きな効果も感じることができた。今年度、実施したことで気付いたことがたくさんあるので、次年度は、反省点も生かし、よりスムーズに取り組んでいけるようにしたい。